

## 19年ぶり発見の娘…半分野生化 カンボジア

1月19日8時0分配信 産経新聞【バンコク＝岩田智雄】

カンボジア北東部のラタナキリ州で19年前に行方不明になっていた少女が18日までに無事に保護された。

少女は現在27歳。言葉はほとんど話せず、与えられた衣服を脱いでしまうなど半分野生化した様子だという。

AP通信によると、この女性はロチョム・プニンさん。1988年、8歳のときに家畜の水牛の群れを追ったまま行方不明になった。

同州の村で最近、弁当箱から食べ物がなくなる被害が相次ぎ、村人が付近で張り込んでいたところ、米を盗もうとした女性を発見。

父親が腕に残った傷跡で、行方不明となった娘と確認した。

父親は娘の様子を「かがんで歩く姿勢がサルのように変わっており、骨と皮しかない。目はトラのように赤い」と話している。